

熊本市 感染症発生動向調査 速報

現在の流行状況

インフルエンザの患者数が「警報レベル」となっています！！

感染症発生動向調査で、平成27年 第2週(1月5日～1月11日)の熊本市の定点医療機関あたりの報告数が、47人(定点数25ヶ所、患者報告数1175人)となり、国が警報レベルの目安としている30を超えました。今後とも感染予防に努めましょう。

1、インフルエンザはどんな病気

- ① 突然の高熱と寒気、頭痛、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が特徴です。
- ② 時には肺炎や脳症などを併発して重症になることもあります。
- ③ インフルエンザはその年により流行の程度に差がありますが、11月から12月に始まり、翌年の1～3月頃の間には患者が増加します。

2、予防方法

- ① インフルエンザの予防接種は、発症予防もしくは重症化防止に有効とされています。希望される場合は、早めに接種しましょう。
- ② こまめに石鹸と流水で手を洗いましょう。
- ③ 十分な栄養と休養をとり、規則正しい生活を心がけましょう。
- ④ 周囲にインフルエンザの患者がいる方は、特に注意し、毎日の対応測定などで健康観察を行い、早期発見に努めましょう。

3、かかったかな?と思ったら

- ① 早めに医療機関を受診しましょう。
 症状が出てから概ね48時間以上経過すると、ウイルスが増えすぎて薬が効かなくなる場合がありますので注意しましょう。
- ② 咳のある時は、マスクを着用しましょう。医療機関を受診する際は、他の患者への感染防止のため必ずマスクを着用してください。
- ③ 人混みや繁華街への外出を控え、無理をして学校や職場等に行かないようにしましょう。
- ④ 水分を十分に補給しましょう。お茶でもジュースでものみたいもので結構です。

期 間		平成27年 第1週		平成27年 第2週	
		12/29～1/4		1/5～1/11	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ 		590	23.60	1175	47.00
RSウイルス感染症		8	0.50	10	0.63
咽頭結膜熱(プール熱)		1	0.06	4	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		10	0.63	16	1.00
感染性胃腸炎 		82	5.13	123	7.69
水痘(みずぼうそう)		7	0.44	12	0.75
手足口病		9	0.56	8	0.50
伝染性紅斑(りんご病)		0	0.00	0	0.00
突発性発しん		4	0.25	9	0.56
百日咳		0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ		1	0.06	1	0.06
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		2	0.13	2	0.13
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		0	0.00	12	2.40
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		1	0.20	3	0.60
マイコプラズマ肺炎		1	0.20	1	0.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	1	0.20